

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

かわら版

目次

巻頭コラム 杉浦 良/詩 米田 太
お知らせ/投稿コーナー 田所 健太郎
月の宮日記/協力者名簿
メンバー投稿/編集後記

2003 12 NO 103

巻頭コラム (杉浦 良)

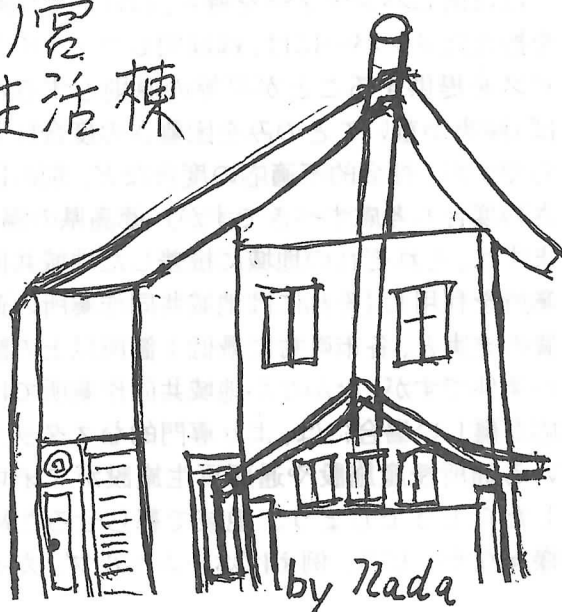
今年の7月「住民の視点にたった地域福祉計画策定に向けて」と題して、関西学院大の牧里教授の講演趣旨が徳島新聞に載っていました。

「・・・今までは専門的に出来ていない、あるいは住民や市町村の創意工夫でなんとかやってきたことを、専門化することによって放棄していくことになる。専門機関にまかせたらいいというように。これは福祉の歴史に似ている。老人の幸せのためには、特別養護老人ホームや老健施設が必要と考え、それができてよかったと言っている。でも、自分は将来、絶対に老人ホームに入るといふ人はどのくらいいるだろう。専門化によって、市民が積極的に福祉の問題を解決する芽をどんどん奪っている・・・」この特別養護老人ホームや老健施設を、障害者施設に置き換えると、私達の日常活動にダイレクトに繋がってきます。知的、身体、精神と大きく3つに分けられた障害者区分の下に、また山ほどの障害内容別に枝葉が分かれて行きます。それぞれ専門化していくことで、その特殊性を問題にしていけます。逆にその特殊性ゆえに、専門的なアプローチが必要であるといった議論が成り立つわけです。縦割り行政への問題点として指摘されている部分も、このこととよく似ています。福祉分野の資格にしても社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士等、ここ10年でたくさん資格が増えました。その特殊性ゆえの学問的アプローチは当然のこととして必要ですし、日々日常の勉強は当然のこととして要求されるわけですが、そのことと牧里教授の講演趣旨がどうも重なって、私自身が感じている違和感ともダブってきます。

「ライフステージのすべての段階において全

人的復権をめざすリハビリテーションの理念」と「障害者が障害のないものと同等に生活し、活動する社会をめざすノーマライゼーションの理念」を掲げながらも、例えば施設の入所希望待機者がなくなり、満足できる福祉状況になったかといえ、なかなかそうではありません。ノーマライゼーションの理念に基づく福祉先進諸国では、「身体」「知的」「精神」の各障害者の施設、病院入院者数の割合は1970年頃から徐々に減少し、10分の1ほどに減らした国もあります。施設入所者の減少は、地域で暮らす様々なハンディーを持つ方々の増加につながり、地域で暮らせる様々なサービスが整うことで、このことが成し遂げられたわけです。施設入所型の分離型福祉から地域支援を中心とした地域共生型福祉への移行といわれているスタイルです。地域で暮らすための多様なサービスの創出は、地域の活性化にも繋がります。このような福祉のあり方に一筋の希望を見出す方も多

月の宮
生活棟



い訳ですが、残念ながら現在の日本では、このような方向に積極的に向かっているとは言えない現実があります。知的障害者福祉法では「指導や訓練によって更生あるいは自活させる」という目標がありながらも、生涯、施設生活をおくる方の多さは、日本の厳しい現実を物語ります。バブル経済が破綻して、聖域無き構造改革が叫ばれる中、『福祉』といえども、その中身と費用対効果が当然ながら求められるようになりました。現在、障害者地域共同作業所、小規模通所授産施設、一般通所授産施設、一般通所更生施設と4種類の障害者の方々を通して利用する作業所、施設があります。使われる公的資金（税金）も大きく違います。ちなみに地域共同作業所は（徳島県の場合）利用人数が5人から10人までは年間350万円、11人から19人まででは年間470万円の公的助成があります。これに99万円の国からの助成を、約半数の作業所が頂いております。小規模通所授産施設は10人から19人までで1100万円です。（徳島県の場合）一般通所施設では20人定員で約4600万円（知的障害）、ちなみに入所施設では年間一人あたり約350万円の公的助成が行われています。（公立公営の施設ではこの2倍以上です）また同じ作業所でも、立ち上げる都道府県によって補助金の額が大きく違います。（220万円から3000万円台まで）そこに関わる専門職員の数も比例していくようです。

ほぼ同じハンディーを持ち、ほぼ同じ困難さを抱えたメンバーには、ほぼ同じコストのサービスを提供することが平等の原則とするならば（障害が重いことのみを困難さの度合にしがちですが、社会的不適応の度合など、別の困難さの度合も考慮すべきですが）徳島県の場合、まずは、それぞれの地域に根差した地域共同作業所を利用し（それには地域共同作業所の運営費の充実と、各市町村に最低1箇所以上の設置が条件ですが）なかなか地域共同作業所では適応が難しい場合には、より専門的なスタッフのいる通所授産施設や通所更生施設がフォローしたらどうでしょう。地域で暮らせるための様々なサービス、例えばホームヘルプ、ガイド

ヘルプ、デイケア（特に土日祭日）といったサービスを充実させながら、現在の入所施設はショートステイを積極的に受け入れることで、地域で暮らすためのバックアップ施設としての機能を高めながら、グループホームのバックアップもおこなったらどうでしょう。また地域共同作業所で力を付けたメンバーは一般就労の機会を模索し、親亡き後の事も考えて、地域共同作業所がグループホームを持てるようにすれば、地域で暮らす拠点になります。近所に利用できそうな家を探すことは、入所施設をつくることよりお金も労力もかからないだけでなく、地域の活性化に繋がります。

大変な回り道をしましたが、牧里教授の『市民が積極的に福祉の問題を解決する芽』が実はここに存在すると思います。本来の福祉の専門家は、専門化せずに地域に帰すことを考えて、積極的に福祉の問題を解決する芽を地域の内に育てることが、一番の仕事といえるのではないのでしょうか。

30の親友へ

米田 太

毎日 仕事に追われて
毎日 酒におぼれて
たまに ああ たまに
アーケードのおねちゃんを
眺めた
飲めない タバコを
たまに吸う
片手にコーヒーをもって
熱い息を吐いた
出会いを求めて
恋がしたくて
たまらなく恋心が
欲しくて ただそれだけ
くよくよするな
好きな女に笑われても
はなでわらいかえせ
くよくよするな
好きになる事を自分で守れ
何度ふられても
くよくよもうするな
てめの居場所には
俺がいるから

お知らせ

秋の宿泊研修 作業所交流会

11月8日～9日、太陽と緑の会のハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計28名が参加し、秋の研修旅行を行いました。この研修事業は、徳島県福祉基金から21万円の助成を受け、これに自己資金を合わせて行ったものです。

8日の朝9時30分、宿泊先の送迎バスにてリサイクル作業所を出発し、午前11時から午後2時30分まで、相生町旧日野谷小学校体育館にて開催された徳島県障害者地域共同作業所交流会に参加（10箇所の作業所から150名が参加）、同町の淡水魚センター淡水荘にて一泊、9日は付近の散策と昼食の後、送迎バスにてリサイクル作業所に戻りました。

作業所の交流会は徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会が今回初めて企画したものです。県内の3障害の作業所メンバーが集まる交流会というのは、全国的に見ても比較的珍しいことです。

作業所間の交流活動は、連絡協議会の活動を初めとして、昨年2月の作業所全国大会、昨年11月の公開座談会、その他宿泊研修会などを通じて行ってきましたが、職員、ボランティアレベルの交流が中心であったため、今回、メンバー同士の交流会を開催することにしました。

今回の交流会では、各作業所の出し物、メンバーの自己紹介、メンバーの言いたいことコーナー（一人3分）、メンバーの成人式、くじ引き、スリーステージによるライブなどプログラムも盛りだくさんで、メンバーもおおいに交流を深めることができました。

ました。

宿泊先の淡水荘ではアメゴ、ニジマスの料理と釣りとミネラル温泉で和やかなひとときを過ごしました。釣りは初めてというメンバーもいて、興奮冷めやらぬ様子でした。

この研修旅行は、作業所のメンバーにとって数少ない楽しみの一つで、旅行を励みに、日常活動を頑張っている人も少なくありません。多くの方のお力によって、今回も行うことができました。メンバーの喜んでいる姿を見ると、本当にありがたいことと思います。

太陽と緑の会から他団体への助成

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金（古紙、鉄屑、空き缶、ウエス1キロに対し6円）平成14年度後期分43万7600円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを、社会福祉などの分野で地道に活動を行っている以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。

- ①障害者地域福祉活動への助成
徳島県内の障害者地域共同作業所 3万円×5箇所 計15万円
A心身障害者地域共同作業所
あゆみ園 すだち作業所
B精神障害者地域共同作業所
若草作業所 うみがめ作業所
アトリエひまわり

小規模通所授産施設 ひまわり園 3万円

徳島県精神障害者家族会連合会 3万円

- ②社会福祉活動への助成
大阪釜ヶ崎出会いの家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動） 2万円

- ③環境保全活動への助成

NPO法人 吉野川みんなの会（可動堰に代わる住民案作りを目指す活動） 5万円

NPO法人 新町川を守る会（河川の清掃活動など） 3万円

④社会教育活動への助成

社団法人日本青年奉仕協会（青少年ボランティア活動の育成推進。青年長期ボランティア計画など） 5万円

徳島県ボランティア連絡協議会 3000円

⑤国際協力活動への助成

TICO（徳島で国際協力を考える会） 1万5000円

ベシヤフル会（アフガニスタンへの医療支援活動） 1万円

徳島県国際交流協会 5000円

⑥中間支援活動（市民活動を支援する活動）への助成

シーズ（市民活動を支える制度をつくる会） 3万円

日本NPOセンター 1万円

残額の4600円は振込手数料の一部に充当

ご寄付を頂きました

12月12日、徳島市入田町の久米川歯科医院院長の久米川一浩様より、太陽と緑の会へ19万4120円のご寄付を頂きました。

久米川様には、日頃、月の宮共同生活棟で生活しているハンディを持ったメンバーのホームドクターとして長年お世話になっており、年に1回の歯科検診も無料でして頂いています。

久米川様からは、7年前にも16万6210円のご寄付を頂きました。今回のご寄付も活動資金として大切に使用させて頂きます。いつも太陽と緑の会の活動をあたたかく見守って頂き、ありがとうございます。この場を借りて、お礼の言葉を申し上げます。

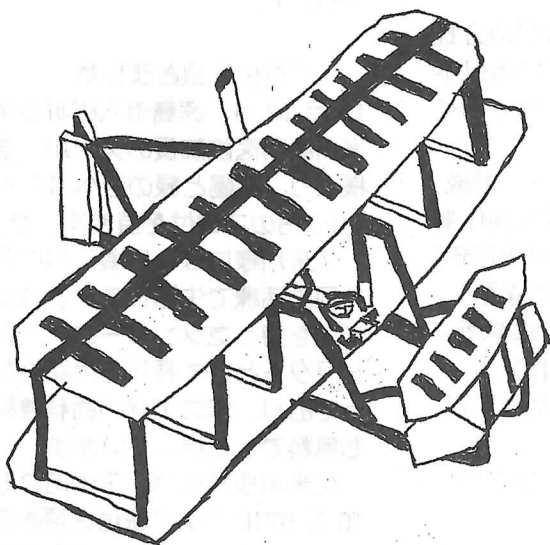
近藤先生を偲ぶ

NPO法人太陽と緑の会 理事

田所健太郎

少年時代に見た月の宮の山河こそ先生に取っての原風景であつたように思う。先生はいつもその驚きとよろこびに満ちた風景を取り戻そうとしていたに違いない。診療所の屋上に築かれた山は小さいながら、そこに茂る木々の姿はまるで月の宮の森林のようであつたし、山に足を踏み入れる時、実った果物をちぎる時、診療を抜け出してあんパンを買いに行く時、そんな時の先生はいつも少年の目に戻っていた。そして晩年には月の宮の「子供の頃から好きだった場所」に移り住んだ。

先生はとても植物が好きで、診察室と屋上（5階相当）との間を毎日何度も往復して、手入れを怠らなかつた。温室は蘭やブーゲンビレア、フィロデンドロン等の熱帯植物でいっぱい、咲いた花は患者や客人に公開された。バナナの本にチキータバナナが吊り下げられていたというエピソードも懐かしい。子供時代からの花づくりに



ライトフライヤー1号
航空100年

南方に出征した時の印象が重なってこのように展開して行つたのだろうか。

ちょっとシャイな子供時代からは後年の大胆さはまだ伺えないが、まじめで素直に育って行つたようである。堅実に努力する人生観、倫理、宗教面での感覚、医師になった事等はお父さんの影響だと思える。

草取りの話はまだ小さな事ながら、苦しい事、つまらない事に直面してもその状況を受け入れて、逃げずにやり抜くという点で、後々色々な場面で賞かれている態度の萌芽に見える。先生自身もこの点を自分の人生の一つの特徴と捕らえてこの話の続きでも、他の機会でも語っているので後の回で紹介したい。

(以下次号) 田所記

ライト兄弟のライトフライヤー1号が1903年12月17日にアメリカのキティーホークの丘のところで初飛行をしました。今年は100周年になります。正式にはキティーホーク複葉機といひます。

絵と文
藤田喜彦

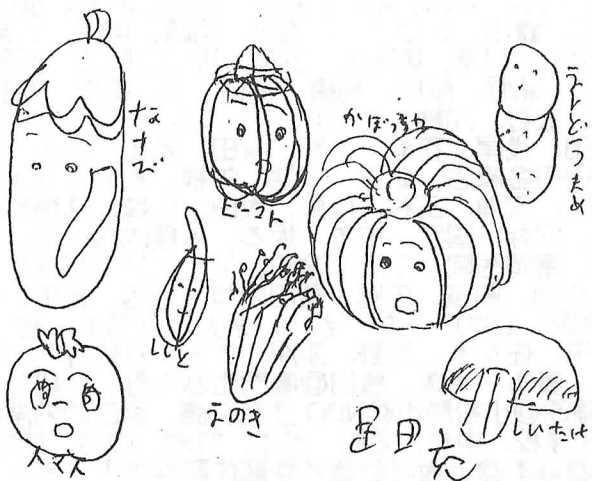
月の宮日記その2

サツマイモに続いてたくさんのジャガイモも収穫できました。メンバーさんに、収穫から総詰めまでの作業をしてもらい、バザーでサツマイモが売れた手ごたえを感じながら国府のお店で並べています。

今年は、昨年と比べて多くのボーナスを支給することができました。メンバー同士で話し合い、メンバーそれぞれのボーナス額を求めていきました。言葉の節々を聴いていると千うホうとメンバーが日常では口に出さない本音が同えてとても意味のある討論会になりました。メンバーが手にしたボーナスは、自分の作業がお金になった実感を得てくれるのではないかと感じています。

「自分なんて」と思ってしまうところから、「自分だってやれはできる」という意識が次の作業につながり、大きなバネになって、それが形になった時の喜びを感じてもらえたらと思っています。

文 益田



月の宮作業所とは

場所は徳島市郊外の入田町月の宮に位置し、平成元年、太陽と緑の会第2作業所計画に着手、月の宮旧豚舎(昭和55年太陽と緑の会建立)に改良を加え、東面の山を切り崩して平坦な土地を作り、畑作りなどを開始、平成12年7月に新たな作業所として立ち上げる。

活動方針

身体障害、知的障害、精神障害など様々なハンディを持つメンバーが自宅、施設、病院、共同生活棟などから通って来る作業所です。農作業、自然養鶏、自転車リサイクル、昼食作り等を通じてその人なりの可能性を模索しています。

一般市民の方の出入りが多いリサイクル作業所では「生き場所」を見出しにくいメンバーや、導入またはリハビリ段階にあるメンバーのために、山に囲まれた豊かな自然の中で、じっくり落ち着いて作業に取り組める場所として活動しています。

活動時間 10時～16時

活動日 週5日(日曜日と水曜日は休み)
(メンバーによって時間、活動日は異なります)

1日の流れ

9時 国府のリサイクル作業所から月の宮作業所まで車で送迎。月の宮作業所に直接行くメンバーは9時30分に月の宮作業所に集合。

9時30分 朝ミーティング 食事作り準備

10時 作業開始 12時 昼食、休憩

13時 作業開始 16時 終了 車で

リサイクル作業所等へ送迎

太陽と緑の会の活動を支えて下さっている皆様

§ 2003 年 11 月 1 日～12 月 20 日 § (紙面の都合上、敬称は省略させていただきます)

不用品を持ち込んで下さった方々

◎徳島市◎青山、中平、浜中、佐々木、荒川、中河、滝山、川崎、清家、藤吉、吉田、大谷、川原、登山、小瀬、品川、東、田中、黒川、藤垣、佐々木、中石、坂東、高木、樋田、中野、藤本、名田、藤川、大西、杉の子作業所、広瀬、勝浦、三原、川口、滝山、麻植、森田、高橋、松倉、鈴江、村上、木藤、阿部、武田、真木野、長野、梶原、三木、山本、山口、株本、板東、久次米、今川、滝山、長尾、西森、戸田、吉岡、新居、小川、フェネリー、品川、栗尾、森川、伊原、吉田、美馬、竹内、大島、足立、三橋、岡島、多田、宮本、沖、竹岡、増本、松本、谷口、桑原、瀧川、徳島市消費者協会、坂口、粟飯原、滝山、安東、丸岡、好井、佐藤、樋田、渡辺、福原、福沢、富士、鴻野、四電エンジニアリング(徳島支店)、河野医科器械(徳島)、七瀬、土肥、吉野川シンポジウム、坂東、川崎、秋山、滝山、東條、浅野、菅澤、森本、豊崎医院、山城、島田、木内、万里、長野、多田、上田、伊藤、竹内、花本、長尾、大上、高橋、桑原、濱本、長崎、鷲野、中島、中道、沖、山根、伊藤、下北、木内、廣瀬、窪田、伊原、玉置、星野、里東、藤原、田中、野田、長尾、名田、桂、山根、高橋、佐藤、武市、上田、山城、赤岩、阿部、佐藤、東、播、長崎、村本、名田、手塚、福島、長崎、板東、藤吉、佐藤、太田、上田、東口、平尾、櫻岡、寺内、原田、上田、岸、宮田、賀好、吉川、陽地、待田、田中、堀江、日下、アハムドシャリウデアン、佐野、倉橋、佐藤、菅澤、元木、知野、大槻、竹田、奥村、佐賀、堀江、平野、林、高田、高木、森、秋田、高井、篠原、八木、名田、長浜、山根、稲井、松本、大久保、佐々木、鴻野、馬場、田中、鉄谷、真杉、新居、アカマツ(徳島)、大島、谷、上倉、東條、生田、美馬、竹野、知野、中村、福原、鎌村、森本、田中、津田、川崎、中尾、長江、吉田、(有)あさざり、筒井、宮北、吉村◎
 鳴門市◎玉垣、NPO法人ふくろうの森、JANNE RYTKONEN、梅本、国府、酒井、川村、西尾、四十宮、赤松、久米、益岡◎小松島市◎松浦、宮田、山岡◎阿南市◎谷本◎石井町◎竹内、高橋、音訳サークルこだま、福島、筒井、児島、BRAD HORVATH、富山、久米、木村、土巴、西川、村本、中東、香川、山西、秋山◎鴨島町◎酒井、宗本、片岡、粟内、長田◎藍住町◎藤田、森田、今井、国府養護学校PTA文化部、森内、マドックスノトリ、梶、三木、岡田、木内、佐藤、岡久、土井、木内、仁木、高橋、佐野、前川◎北島町◎大島、木下、多田、森、アブラタン◎松茂町◎丸中板野町◎森川、平島、森定、沖津、村田◎上板町◎渡部、相原、小磯◎山川町◎工藤、井内◎池田町◎工藤◎阿波町◎増田◎土成町◎大木◎吉野町◎中西◎神山町◎天野◎木沢村◎ホラージェフリー◎勝浦町◎溝田、片山◎羽ノ浦町◎羽鳥◎那賀川町◎伊藤◎その他◎野田◎千葉県◎高坂、宇山◎埼玉県◎本田◎愛知県◎松浦◎兵庫県◎宮本

不用品を回収させて頂いた方々

◎徳島市◎新見、フオト原田、山崎、末広ボール、佐藤、長谷、池本、近藤、高川、高橋、天羽、原田、マルホ原色、鳴門電機、虹の橋クリニック、三好、月華堂、瀬川、東根、小泉、斉藤、鈴江、林、斉藤、須磨、長瀬、小松、原田、西、猪俣、松浦、中山デザイン社、豊島、川内、是安、西内、広岡、後藤、大島、板東、吉田クリーニング、三村ビル、豊田内科、黒澤、岡山、竹岡、上野、吉田、矢部、中原、後藤田、佐藤、日本道路公団徳島工事事務所、太田、松田、成瀬、讃岐、栗尾、奥藤、吉本、平田、宮城、佐伯、羽田、香川、AIG 福本、和田、長瀬税理事務所、三木、丹羽、大柴、桑内、西条産婦人科、本多、広住、宮崎、森、宮城、藤田、浅石、黒川、黒崎、増田、日野、坂東、森、平岡、中田、樫本、秋田、矢本、瀬崎、富永、増田、讃岐、山田、山本、田中、西、横田、吉田、北井、岩野、板東、服部、松本、坂田、前田、森本、鈴木、岩野、橋本、木内、下地、山城、小林、川野、木村、小倉、新居、鎌田、トラスト、讃岐、河崎、中田、七条、尾形、インテリア三和、吉田、あき美容院中川、山田、村澤、後藤田、近藤、片山、阿部、近藤、阿部、ダイテック、石本、佐藤、松本、二川、酒井、端野、藤田、高橋、渡辺、中、福原、安芸、林、柏木、森本、中島、Dコム、小西、田中、流、坂野、加納、ワールドコーポレーション、山下、田中、黒田、山村、中島、藤吉(徳島)、増田、米田、浅尾、花瀬、矢野、秋田、若山、川人、藤本、鎌田、城西病院、花岡、陽地、三原、小西、中田金庫店、新居、井端、矢根、松田、井上、瀬川、田中、鎌田、近藤、猪俣、後藤、伊藤、宮城、成瀬、田村、佐藤、坂田、久龍、徳島県医師会、巽、本田、ケアあすか、山口、高松、湯浅、穴井、国定、柏木、坂本、近藤内科病院、小倉、大野、笠原、杉原、あき、山口、岡田、樋田、富岡医院、平田、渡辺、アサヒプラザメルクマール眉山東、下塚、林、パソQ、笠原、米田、秋田、船越、広岡、豊田内科、西内、松田、藤井、工藤、田中、田辺、藤本、仁田ビル、沢田、阿部、山内、三好、若山、宮井、武富士、谷口、渡辺、松田、荒井、三好、手塚、佐藤ミート、古田、佐々木、矢野、漆原、大田、八幡ユートピア店、乾、吉田、谷口、末広ボール、柿橋、村澤、藤本、手塚、豊田◎鳴門市◎天野、久龍、長佐古、関谷、富崎、木村、大江、リユーネの森、藤原◎小松島市◎NPO 連絡会議、宮田◎阿南市◎井口◎石井町◎友成、近藤、有徳、田中、農業大学校、中村、海原、吉本、笠原、中村、武智、坂本◎鴨島町◎森次、喜島、森本、鈴木◎川島町◎森本◎上板町◎藤井◎藍住町◎福田、岸瀬、吉田、畦地、阿部、寛斎不動産、浜、近藤、土井、阿部、近藤、山崎◎応神町◎山田、西口、健祥園◎松茂町◎上田、藤原◎北島町◎田中、千歳、北島町ボランティア福祉センター、美容店セ

シール、安芸、結城

寄付して下さった方々

◎徳島市◎太田 ¥1000、中田 ¥3000、田中 ¥1000、久米川 ¥20000、久米川 ¥174120、アイ設備 ¥5000、笠井仏壇 ¥1000、谷口 ¥3000、生田 2000、三好 ¥20000◎土成町◎芝野 ¥10000、妹尾 ¥1000◎北島町◎都築 ¥5000◎匿名◎¥100、¥1000

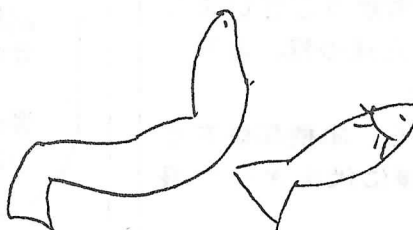
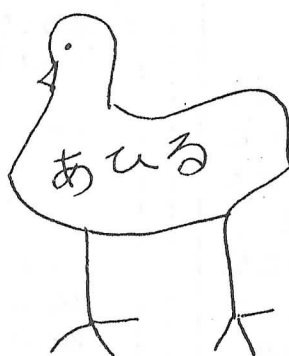
不用品を持って来て下さった方には、持ち込みカードへの記入をお願いし、当会の機関紙をお渡ししていますが、ここでご紹介させて頂いているお名前は、そのカードに基づいています。「名前は結構です」と言われて置いて行かれた方、何度も持って来て頂いた方も多数おられ、実際の不用品の引取件数は、ここでご紹介させて頂いた人数の3倍くらいあります。また徳島県外から持って来て下さった方、「捨てるにはしのびないから」とわざわざ郵送で送って下さった方もおられました。なお、厳重にチェックしておりますが、万が一お名前の書きもれ、書き間違いなどございましたら、ご一報頂ければ幸いです。

NPO法人太陽と緑の会の活動は、一般市民の方のご支援、ご協力によって支えられています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

メンバー投稿コーナー

メンバー交流会について

大和 麻耶
相生町にある小学校の体育館である地いぢやうとうぢやうのメンバーな交流会に行きましたいろいろな作業所が県内からたくさんきて いろいろの仕事などいろいろなことを言いました。まいとレワークキャンプでは、リサイクルしてはんのかんサーともみられその他いろいろなクイズなどしてたんすい そうであめごをつくらんを それをつくらたてました。かえりほ 道の馬尺によりあみあけなともかいました。夜12時ごろまでカラオケをしました。さあ来年はどこにいゆでばう。



編集後記

人は城 人は石垣

戦国時代、最強の武将と言われた男、武田信玄。彼は生涯城を持たず、人(家臣)を大切にし、信頼した人としても有名である。物事を成就するためには一人の力だけでは決して達成できない。いつの世も天才と言われる人、カリスマと呼ばれる人はいる。先日、ある国の独裁者で元大統領のF氏がA国に身柄を拘束された。因果応報と言えばそれまでだが……どの時代においても、独裁主義で長く続く歴史は少ない。

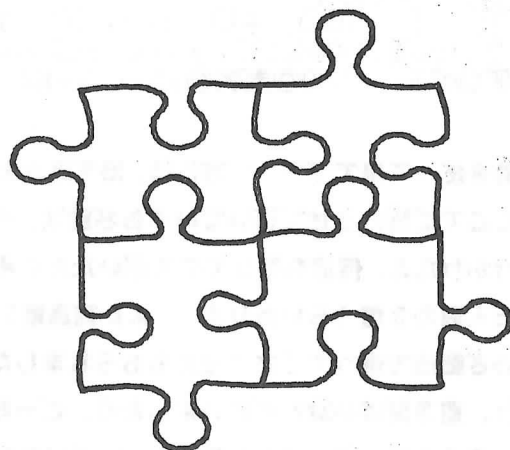
個人的な見解で申し訳ないが、私は武田信玄という武将を尊敬している。彼は悲劇の武将と言われ、地理的環境と家庭運に恵まれず、目的は成就できなかったが、彼の人を大事にし、個々の能力を信頼した精神は、今の不景気で明日の見えない時代だけに大切にしなければと思えてならない。

文 白石

新年の活動は 1月5日(月) からです

12月29日(月)～1月4日(日)は活動を休ませて頂きます。市民の皆様方には大変ご迷惑をおかけ致しますが、よろしくお願い致します。なお休み期間中、不用品のお持ち込み、不用品回収のご依頼は一切お受けしておりませんので、ご了承下さい。今年も様々な形でご支援、ご協力を頂き、本当に有難うございました。新年も引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、大変失礼ながら、本機関紙をもちまして新年のご挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。



特定非営利活動法人 太陽と緑の会

太陽と緑の会は、人も物も活かされる社会の実現を図るため、リサイクル活動、障害者の自立支援、ボランティア育成、及び国内外の各分野で活動する個人・団体との連携・協力などに関する事業を有機的に行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする「特定非営利活動法人」です。

リサイクル文化社会を創りつつ、そこが障害を持つ人々の働く生きがいの場とに国内外の団体等を支援する、という有機的な活動を目指しています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会
〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延
字小原 107-1

TEL 088-643-1054
(事務局)

088-642-1054
(リサイクル作業所)

FAX 088-642-1054

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

代表理事 杉浦 良 編集 白石 隆信
編集サポート 木村 有理子

年会費：正会員 10,000 円
準会員 1000 円

郵便振替口座：01620-8-44703
※この機関誌は再生紙を使用しています。